

NO.	中項目	意見内容	反映状況
1	課題への対応	市民活動やボランティアの高齢化や担い手不足が課題と感じているがそのあたりの実感はどうか。また、そうした課題に対して本指針ではどのように対応するといった方向性、メッセージがあるのか。	高齢化や担い手不足等の課題は感じており、改善していくためのメッセージを発信することは大切と感じています。一方で、具体策を網羅することは難しいことから、「私でもこれならできる」と思ってもらえる具体的な行動事例を、ターゲット別概要版に反映し、作成しました。
2	課題への対応	各主体の将来像を入れたのは良いが、現状の課題を踏まえた現実とのギャップを埋める必要があるように思うが、各主体の具体的な行動の拠り所とするべく、その具体策をこの指針の中には盛り込まなくて良いのか。	将来像の記載箇所はそれぞれの主体の「目指す姿」と「そのための行動例」として、行動を促すための分かりやすい構成としました。また、具体策を網羅することは難しいため、指針本体とは別にターゲット別概要版にてより具体的な行動の例示をすることとしました。
3	市の施策との関連	総合計画の理念や将来都市像との関連性を冒頭に挿入することで、市の目指す方向性、および手段としての指針の位置づけが明確になるのではないのでしょうか。	冒頭のごあいさつの中に、第3次総合計画に関する内容を加えて修正しました。将来都市像やそれに向けた協働の位置づけなどを説明しています。
4	ターゲット・方向性	格調の高い部分と分かりやすさを追いかけている部分が混在して、ターゲットを絞っても良いのではと感じました。	指針本体の目指すところとしては、市民参加と協働を出来るだけわかりやすく理解していただくこと、また将来像を示すことで、自分の役割やそのための行動をイメージしてもらうことを目標にしています。このことから、総合計画などとの関係については冒頭のご挨拶にて記し、本編では各主体の目指す姿とそのための行動の例を示しました。そして更に、各主体の具多的な行動のブレイクダウンとして、ターゲット別概要版にて「各主体として出来ること」を示すこととしました。
5	ターゲット・方向性	ターゲット毎に分かりやすく、この指針の理解を促す必要があることから、是非浜松市のターゲット別の概要版のようなものを作成して欲しい。	同上
6	ターゲット・方向性	結局この指針では何をを目指すのか？といったキーコンセプトが欲しい。新たな参加がなかなか見込めない現状を踏まえると、協働創出のための「つなぐ」というキーワードが大切と感じている。	10ページ第3章の冒頭に、キーコンセプトとして「つながる」「つなげる」まちづくりを掲げました。また、その後に続く文章や、ターゲット別概要版についてもそのコンセプトに沿った形で修正しました。
7	普及について	この指針が、誰にどういう形で目を通していただけるのか、各家庭に配布するのか。現状地域でも新たな参加がなかなか見込めない中で、この指針を読んで「じゃあ行動しよう」というところまで落とし込むのはなかなか難しい。どこまで浸透できるかが課題と感じている。また、格調高すぎても読んでももらえないため、どうやって理解を促すかが課題と感じている。	どのように普及させていくかは大きな課題であると感じています。その意味で、ターゲット別概要版を分かりやすく具体的な行動例も含め作成しました。この概要版をいかに様々な場面で訴求していくかについて、引き続き検討して参りたいと考えています。
8	普及について	指針の普及について、動画作成や漫画による構成、1トピックをSNSなどで配信するなど考えられると思います。	概要版の内容と併せて、普及方法についても引き続き検討して参ります。
9	普及について	公募型支援事業の募集において、「指針の普及活動を行う団体」を募集してはどうか。	公募型支援事業においては協働による事業も申請可能ですが、1つの選択肢として検討させていただきます。
10	その他	官官協働について。市民が行政に相談すると様々な部署に横断して案内されるなど、分からないことが多い。よく言われる縦割り行政の弊害なども、協働を進める上で必要なことだと感じるので、是非取り入れて欲しい。	11ページの意識醸成と行政の体制強化の記述において、行政内部の各セクション間における横の連携を強化するという主旨の内容を加えました。